

第3学年 社会科学学習指導案

令和4年11月1日（火）3校時

- 1 小単元名 地方自治と私たち
～空き家・廃校問題から吉川美南駅周辺の未来を考える～

- 2 本小単元を構成するにあたって

(1) 教材観

本小単元は、中学校学習指導要領解説（平成29年告示）2 内容 C（2）に以下のように位置付けられているものである。

(2) 民主政治と政治参加

対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること

(エ) 地方自治の基本的な考え方について理解すること。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解すること。

イ 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成することに向けて、次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

本小単元では、地域社会における住民の福祉は住民の自発的努力によって実現するものであり、住民参加による住民自治に基づくものであること、そして、このような住民自治を基本とする地方自治の考え方が、地方公共団体の政治の仕組みや働きを貫いている基本的な考え方であることを理解できるようにするとともに、地方公共団体の政治についても代表民主制の仕組みが取り入れられており、住民の代表として選出された執行機関の最高機関である首長と、同じく住民の代表として選出された議員によって構成される議会の二つの機関の関係を中心に理解できるようにする。また、身近な地方公共団体の政治について取り上げるとともに、住民の権利や義務に関連付けて扱うことにより、地域社会への関心を高め、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育成していく。さらに、日本国憲法における地方自治の保障の重要性を理解できるようにしていく。

そして、民主政治を推進するためには、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加が必要となること、また、国民の意思を国政や地方の政治に十分反映させることが必要であり、国民一人一人が政治に対する関心を高め、主権者であるという自覚を深め、主体的に政治に参画することについて多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにする。

(2) 生徒観

(省略)

(3) 指導観

①主体的に社会に参画し、その発展に寄与する態度の育成について

本小单元では、地方自治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成することを主なねらいとしている。本小单元の導入では、生徒にとって身近な地域である吉川美南駅周辺について、30年後はどのように変化しているのか考える。その上で、身近な地域にも空き家・廃校問題といった課題があることを資料から読み取り、グループで話し合いながら、多面的・多角的に考えを深めていく。「住民の声を政治に生かすためにはどうしたらよいのだろうか。また、私たちに何ができるのだろうか。」という小单元を貫く学習課題を設定し、追究する活動をとおして、吉川市で生活する住民の一人としての自覚を育て、主体的に社会に参画し、その発展に寄与する態度を育成していきたい。

本校の生徒は、昨年度から生徒会を中心に、自分たちで発案し、議論し、投票して校則を改定する経験をしている。このような経験も想起しながら、社会の一員だという意識を高めつつ、「問い」を追究したくなるような授業を実践していきたい。

②学校研究課題との関連について

学校研究主題 新しい時代に必要となる資質・能力を高められる生徒の育成 ～考え、話し合い、学び合う学習を通した「学力向上」の取組～
--

変化の激しい社会を生きる中で協働して課題解決していくことが不可欠である。教室で多くの時間を過ごす仲間と意見を出し合いながら、課題を解決していくことで、自己肯定感を向上させ、協働することの楽しさを感じさせていき、新しい時代に必要な資質・能力を育てていく。ICT機器を有効的に活用することで学び合いを効率的に進めていきたい。また、授業の終わりには、自らが学習した内容や学習状況を把握するために、学習の振り返りをスプレッドシートに記録していく。学習が進むにつれての成長の可視化、既習事項との関連、探究的な学習につながるようにメタ認知能力の向上も図っていく。あわせて小学校での既習事項も確認しながら授業を行っていく。

③全国及び埼玉県学力・学習状況調査の活用について

(一部省略)

社会科の授業でも、資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く力を伸ばしていきたい。また、授業の振り返りでは、「友達の発言で理解が深まっている」という記述が多くあがる。自分の考えをグループやペアで伝え合う活動を継続していきたい。

また、学習方略の「プランニング方略」、非認知能力の「自己効力感」を伸ばしていきたい。そのために、「プランニング方略」については、小单元を貫く学習課題を毎時間意識し、見通しをもって学習を行ってほしい。「自己効力感」については、ムーブノートの拍手機能やグループやペアでの学習、教師との対話等においてほめることを意識していきたい。

4 小单元の目標と評価規準

(1) 小单元の目標

- ・地方自治の基本的な考え方について理解する。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解する。【知識及び技能】
- ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について、対話的な活動を通じ、多面的、多角的に考察、構想し、表現する。【思考力、判断力、表現力等】
- ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

5 小単元の指導計画・評価計画（5時間扱い） ●「学習改善につなげる評価」 ○「評定に用いる評価」

時間	学習活動等	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
導入 (1時間) 本時	<p>【ねらい】小単元を貫く学習課題を設定し、予想を出し合い、学習計画を立て、課題解決への見通しをもつ。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> 地理的分野で学習してきたことや、小学校で学習してきたことを振り返りながら、吉川美南駅周辺で30年後に起こりうる課題について考え、話し合う。（1人1台タブレット端末の活用…スプレッドシート、ムーブノート、ジャムボード等） 単元を貫く学習課題を設定する。 	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ●単元を貫く問いを自分ごととして予想を出し合い、学習計画を立てるなど、課題解決への見通しを立てている。（スプレッドシート・発言） ●資料から読み取ったり、グループで話し合ったりしたことを基に、吉川美南駅周辺の課題について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。（ムーブノート・発言）
<p>小単元を貫く学習課題「住民の声を政治に生かすためにはどうしたらよいのだろうか。また、私たちに何ができるのだろうか。」</p>					
小単元3 (3時間)	<p>【第1時の課題】「地方自治はどのような考えに基づいて行われているのだろうか。」</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体の役割について理解する。 地方自治がどのような考えに基づいているか、地方自治の原則に着目して考察する。 	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ●地方自治の役割について理解している。（ムーブノート） ●地方自治が「民主主義の学校」と呼ばれる理由について、地方自治の原則に着目して考察し、表現している。（ムーブノート・発言）
<p>【第2時の課題】「地方自治はどのような仕組みで行われているのだろうか。」</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治の仕組みについて理解する。 地方自治での二元代表制の特徴について、国の政治との違いに着目して考察し、表現する。 	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ●地方議会や首長が果たしている役割について理解している。（ムーブノート） ●地方自治での二元代表制の特徴について、国の政治との違いに着目して考察し、表現している。（ムーブノート・発言）

	<p>【第3時の課題】「地方公共団体には、どのような課題があるのだろうか。また、私たちは政治にどのように関わっていけばよいのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体にはどのような課題があるかについて理解する。 ・吉川市の課題を調べ、解決のために自分ができることを考察、構想し、表現する。 ・住民が地方公共団体の政治に参加する方法について理解する。 ・住民の声を生かした政治を実現するために、どのような取り組みがなされるべきか考察する。 	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ●地方公共団体の財政を支える収入について、本文や資料の読み取りを通して理解している。(ムーブノート) ●吉川市の課題を調べ、解決のために自分ができることを考察、構想し、表現している。(ムーブノート・発言) ●住民が地方公共団体の政治に参加する方法について理解している。(ムーブノート) ●住民参加が重要な理由について、民主主義の観点から考察している。(ムーブノート・発言)
まとめ (1時間)	<p>【ねらい】単元を貫く学習課題について、本小単元の学習内容を振り返って、多面的・多角的に考察、構想し、表現するとともに、主権者としての意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本小単元の学習内容を振り返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○本小単元の学習内容を振り返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。(ムーブノート・発言) ○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。(ムーブノート・発言)
		○		○地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。(定期テスト)

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ・小単元を貫く問いを自分ごととして捉え、予想を出し合い、学習計画を立てるなど、課題解決への見通しを立てる。(学びに向かう力、人間性等)
- ・資料から読み取ったり、グループで話し合ったりしたことを基に、吉川美南駅周辺の課題について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

	学習活動等	・指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入 5分	1 既習事項から空き家や廃校が増加している現代社会の課題を把握する。 2 吉川美南駅周辺の30年後の様子を考える。 3 本時の課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野で学習してきたことや、小学校で学習してきたことを振り返りながら、吉川美南地区の30年後の様子を考えることができるようにする。 	
本時の課題：吉川美南駅周辺の30年後の姿を考えよう。どのような街づくりが必要か。			
展開 33分	4 グループに分かれ、3種類の資料を読み取る。 【グループ】 A 学校施設の有効活用 B 空き家問題の解決策 C 交通網の整備 5 異なる資料を読み取った生徒でグループになり、それぞれの資料から読み取ったことを伝え合い、考えを深める。 6 自分の考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・AとCでは生徒にとって身近な吉川市の事例、Bではすでに空き家問題が発生している他地域の事例を取り上げることで、本時の課題を自分ごととして捉えられるようにする。 ・ジャムボードを活用し、資料から読み取ったことをわかりやすくまとめられるようにする。 ・資料を読み取ることが難しい生徒に対しては、読み取る視点を具体的に示す等、個別指導を行う。 ・3種類の資料を比較したり、関連づけたりしながら考えを深められるように支援する。 ・話しやすい環境を整える。 ・メモを簡潔にとることを確認する ・吉川美南駅周辺で30年後に起こりうる課題を捉えた上で、どのような街づくりが必要か、オクリンクを活用し、自分の考えをまとめる。 ・友達の考えに拍手をつけたり、自分の考えに付け足したりする。 	思 資料から読み取ったり、グループで話し合ったりしたことを基に、吉川美南駅周辺の課題について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。(ムーブノート・発言)
まとめ 12分	7 小単元を貫く学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。 小単元を貫く学習課題 「住民の声を政治に生かすためにはどうしたらよいのだろうか。また、私たちに何ができるのだろうか。」 8 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・小単元を貫く学習課題に対する予想やこれから学習したいことを発表し、学習計画を立てていく。 ・スプレッドシートを活用し、小単元全体をとおして、振り返りを積み重ねていく。振り返りの内容は厳選して次の時間に紹介する。 	態 小単元を貫く問いを自分ごととして捉え、予想を出し合い、学習計画を立てるなど、課題解決への見通しを立てている。(スプレッドシート・発言)

(3) 板書計画

